



# メイのスキンシップは 性欲つよつよ!





もう…なあにジャローダ  
甘えん坊さんなんだから♡

シャロォォォ…





私はメイ、ポケモンが大好きな普通のトレーナー。

ちよつと度が過ぎて甘やかし過ぎちゃうところもあるけど、  
ナカが良い事は良い事だよね！

ちよつとジャローダ？

私動けないんだけど？

ジャローダの音効果文







100%

100%

100%

100%

100%





ジャロオオ...

なあに？  
おまんこシたくなっちゃったの？

もう... しょうがないなあ ♡

ジャロオオ...

ジャロオオ...

ジャロオオ...

ジャロオオ...



私のジャローダは甘えん坊。


おちんちんがイライラすると  
私のおまんこが恋しくなっちゃうみたい。

人間がポケモンとこんなこと  
シチャイけない事なんてわかってるけど、  
甘えてくる姿が可愛くて否定できない。

この子が気に入ってくれる番いの子探してあげないとなあ…  
これまでも何回かメスのジャローダとあてがってみたけど、  
結局のところ私のおまんこに帰って来ちゃう。







私のおまんこも、ポケモンちんぽを受け入れることが  
日常的な所為か、全く嫌な気がしない。

それどころか、クリトリスを本気勃起させつつ  
愛液をダラダラと垂れ流しにしてしまう。

今か今かと、ご褒美を待ち、  
涎を垂らすように……。





The Hell!

ん...♡...♡...♡



ジャローダのちんぽが、おまんこの中で一回り大きくなる。  
そのあまりの長さは私のお腹を持ち上げ、筒状の膨らみを作る。

これは、この子の射精の兆候だ。

ジャロオオ...

んっ...♡  
おちんちん  
おっき...♡

はーい！

チャアア





おちんちん  
ムズムズしてきたね ♡

ビャロ〜♡

よしよし  
精子出し出しシようね ♡







ジヤロ…ミン…!

3!!

2!!

1!!

4!!

5!!

6!!



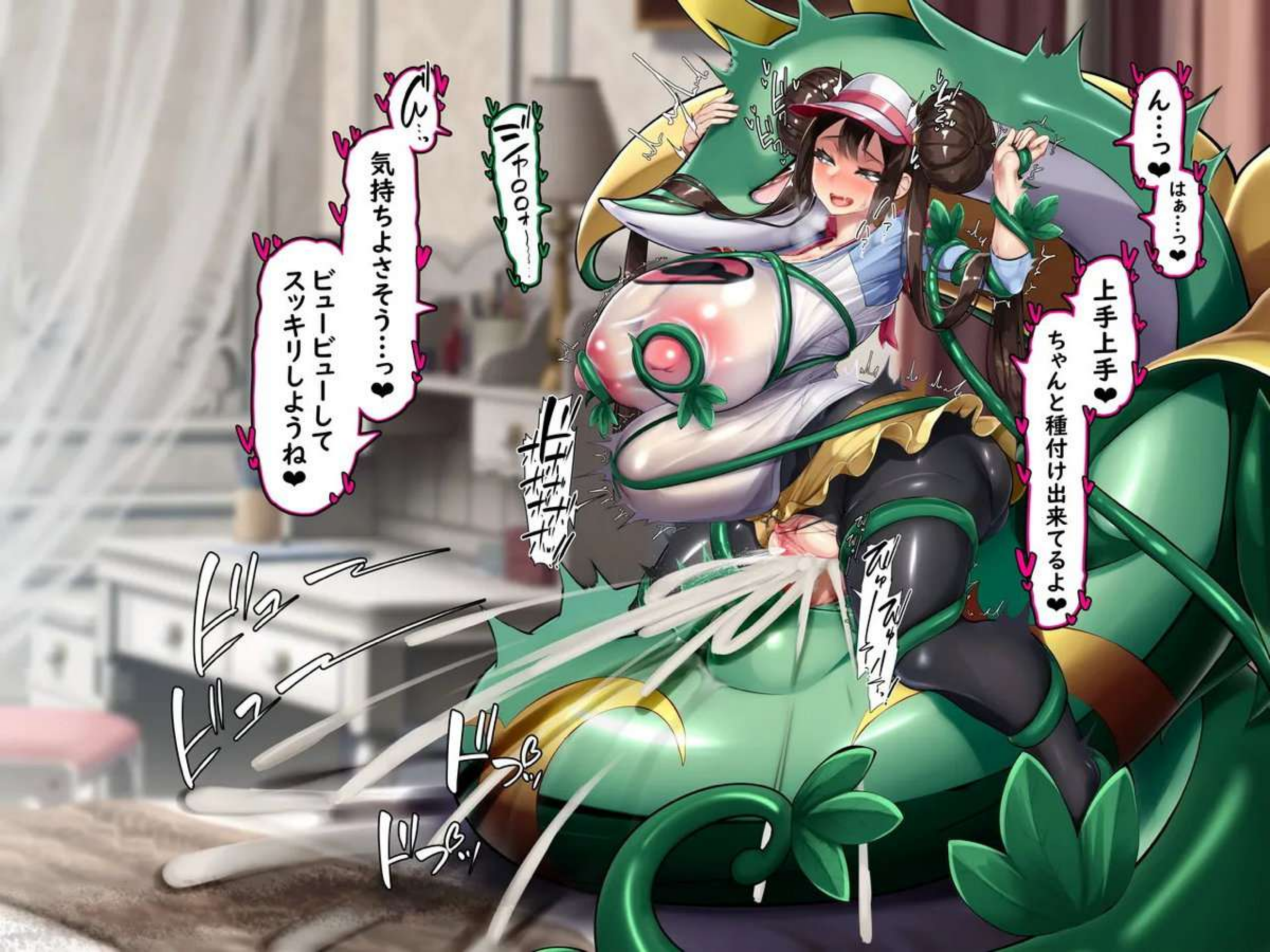
ドクン！と私の膣内でちんぽが脈打つ。  
その瞬間、私の体温よりも熱い  
半液体状の精液が子宮に注がれていく。

精液の重さハッキリと感じる。

体格の大きいジャロードの射精は人間のそれとは段違い、  
ドクンドクンと脈打つ度に、お腹が重くなっていく。







ん...っ  
気持ちよさそう...っ ♡  
ビュービューして  
スツキリしようね ♡

ニヤッ

ん...っ ♡  
はあ...っ ♡

上手上手 ♡  
ちゃんと種付け出来るよ ♡

ヒュ  
ヒュ  
ヒュ  
ヒュ  
ヒュ

ヒュ  
ヒュ  
ヒュ  
ヒュ  
ヒュ

ヒュ  
ヒュ  
ヒュ  
ヒュ  
ヒュ





子宮にキクうううう♡

うわー

私も気持ちいいよお♡

うわー

うわー

うわー

うわー





はあ... はあ...

種付け上手になったね♡  
ジャロードア...

じゃろおお...♡

精子でお腹いっぱい♡

ぽんぽんぽん

おん



ポケモンの精子を人間の子宮で受ける。  
子宮を精液でパンパンにされる感覚が  
病みつきになってポケ姦はやめられない。

もう……  
私の体 ポケモンのおちんちんで  
赤ちゃん作りたくならないでよお♥

異種の遺伝子にもかかわらず、私の子宮は繁殖期の  
スイッチが入ってしまいそうになる。

ポケモンのものとはいえ、精子は精子だ。  
私の子宮はつい誤動作してしまう。





丁寧に私の子宮に精液を注ぎ込むジャローダの  
健気な姿にキユンときてしまう。

ジャローダ本人は甘えているだけのつもりなんだろうけど、  
おちんちんは私をメスとして墮とす気満々なのがわかつちやう。

ほら…♥  
またキンタマが痙攣してる♥





えへへ♡  
また射精しちやいそう？

私を孕ませるための  
精子工場フル稼働だね♡

我慢しないで♡

こんなに可愛いのに、ちゃんと  
オスとしての役目を果たそうとしてるんだ。







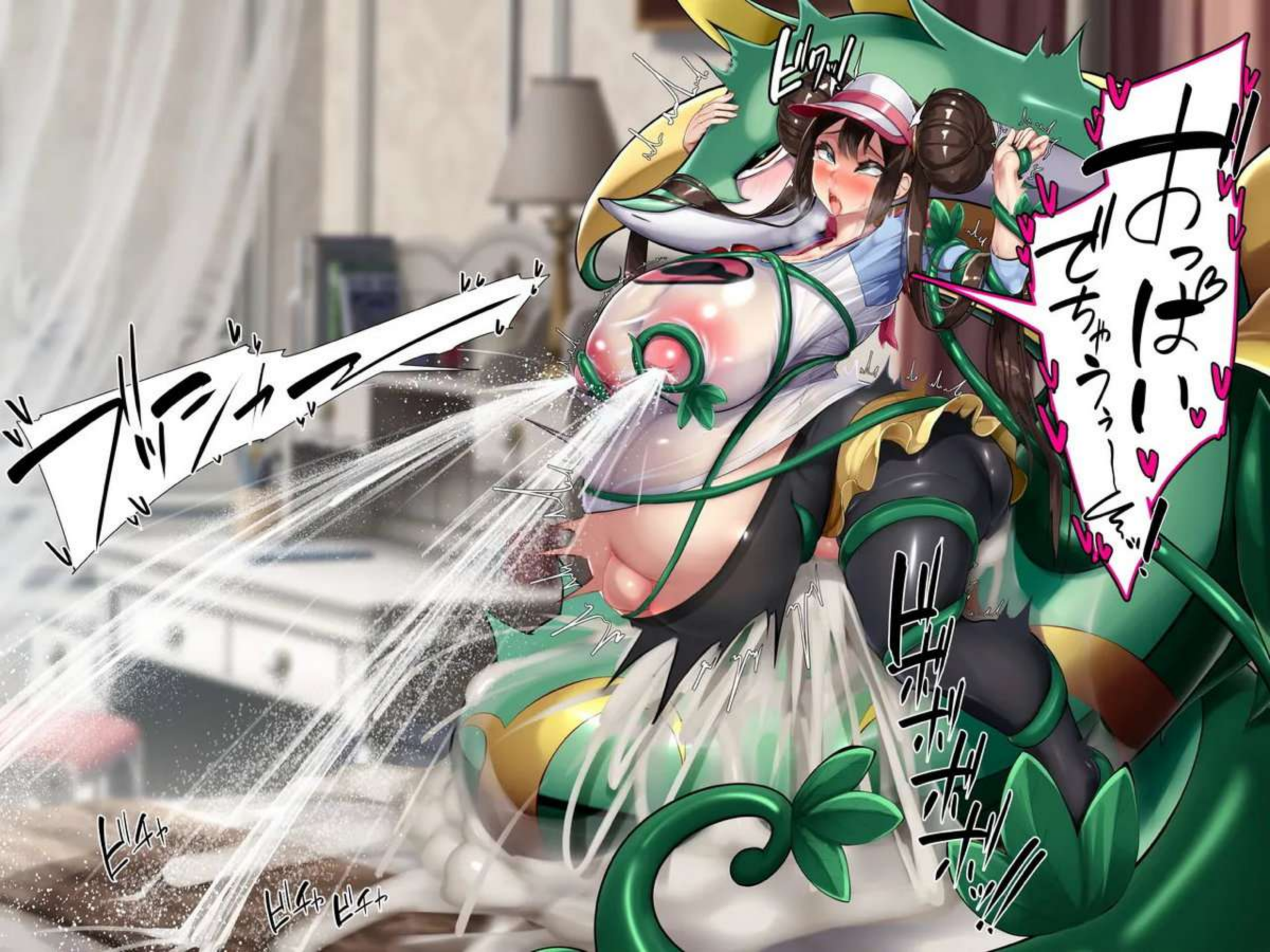


「この穴は俺の物だ」と言わんばかりのザーメンマーキング。

女の体の壊さんばかりのポケモンの射精は、私の体を苗床に目覚めさせるには十分な刺激だ。







あーほい  
ちゅうーん

アッ  
アッ  
アッ

アッ

アッ アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



おっぱい出っちゃった♥  
お腹も重くて暖かい…♥



フィカ  
フィカ





おっぱいから母乳出ちゃった…♥

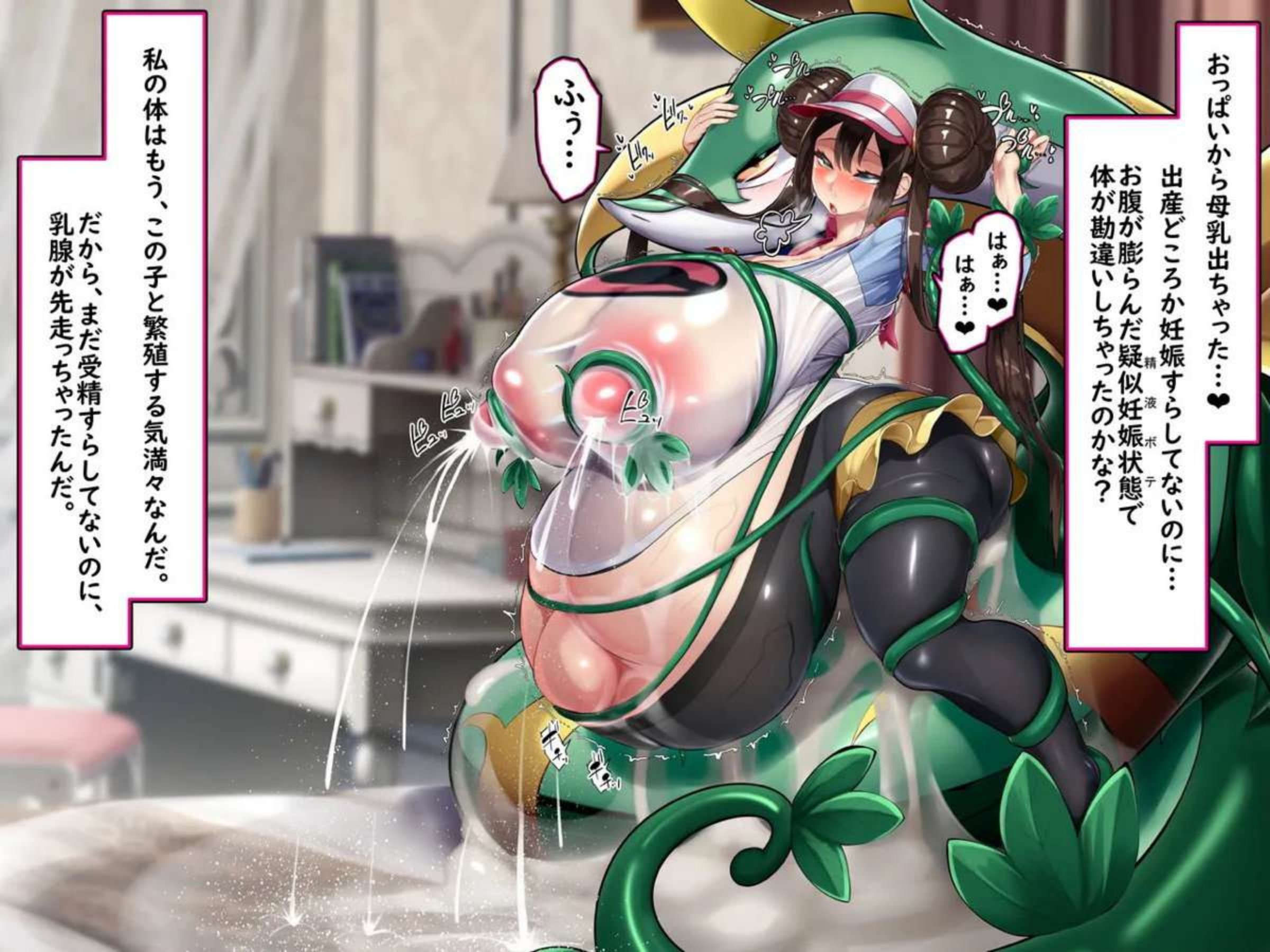
出産どころか妊娠すらしてないのに…  
お腹が膨らんだ疑似妊娠<sup>精液</sup>状態で  
体が勘違いしちやったのかな？

はあ…♥  
はあ…♥

ふう…

私の体はもう、この子と繁殖する気満々なんだ。

だから、まだ受精すらしてないのに、  
乳腺が先走っちゃったんだ。





ねえ 見てジャローダ

ジャロー??

これ全部キミの精液だよ  
上手に射精できました♡

えらいえらい♡





一方で私の体は全然偉くない。

この子の精子にキュンキュンときめいちゃってる...

だってだって...お腹の中で精子たちが  
卵子を探して泳ぎまわってるんだもん...

うう...受精させてあげたい...

本当はダメなのに...  
私の体 性欲強くて困っちゃう





良いよ ♡

ん？  
また出ちやいそうなの？  
射精

ジャロロオ… ♡







射<sup>だ</sup>精しちゃってヘヘ!!











私はジャローダが大好き…

好きすぎてこの子の  
チンポも精子も愛おしい…♡

ら…卵巣が疼く…♡

ヤバ…今にも排卵しちやいそう♡





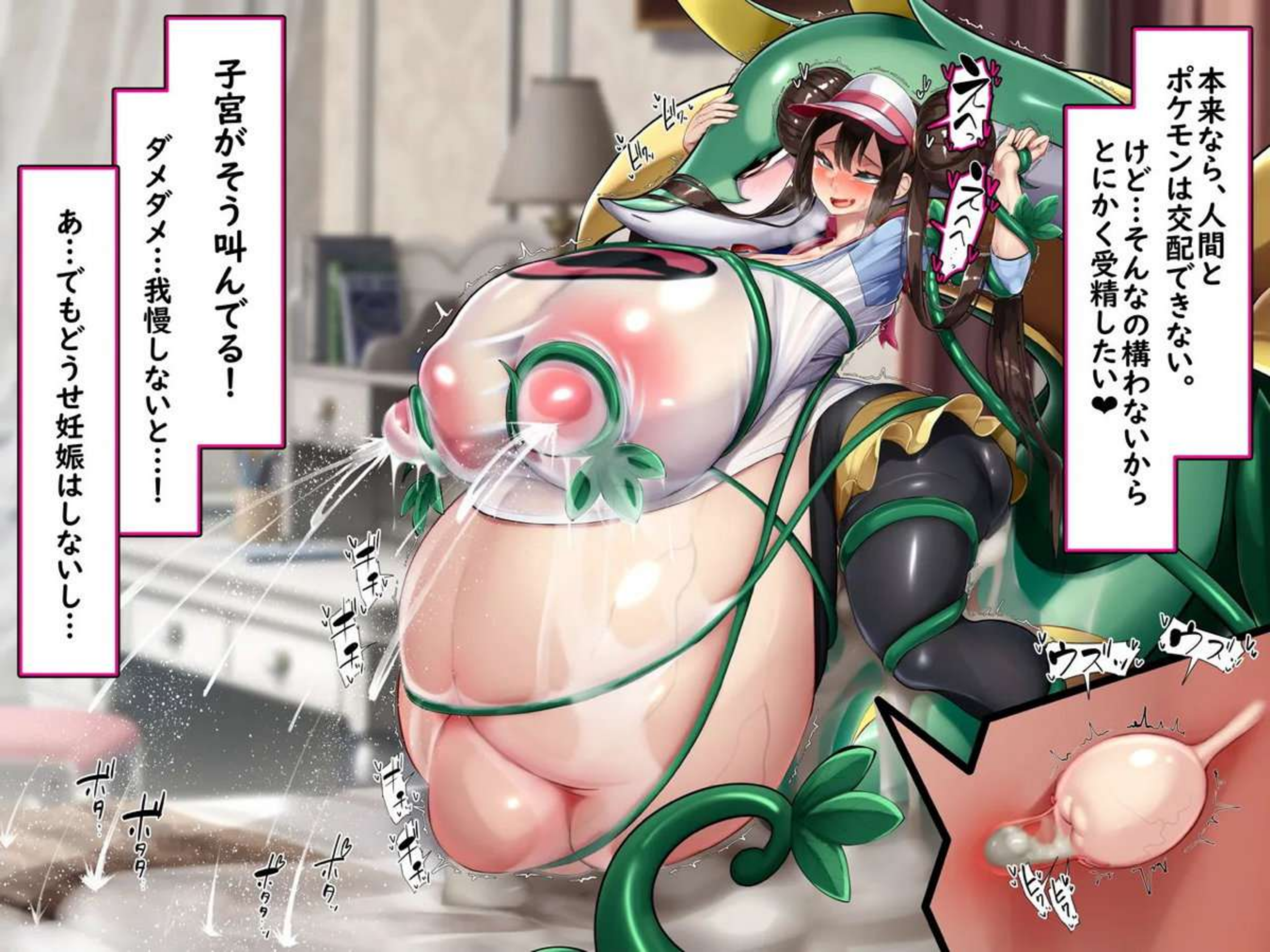
本来なら、人間と  
ポケモンは交配できない。

けど…そんなの構わないから  
とにかく受精したい♥

子宮がそう叫んでる！

ダメダメ…我慢しないと…！

あ…でもどうせ妊娠はしないし…













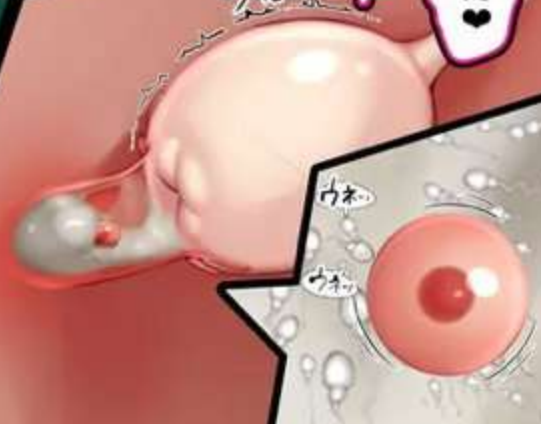


Large stylized white symbol resembling a stylized 'F' or 'H' with a heart and musical notes.

主従関係逆転するうう…♡

お…思わず排卵しちゃった♡

Handwritten musical notes and symbols scattered on the left side of the image.





私に覚悟はあっけなく砕ける。  
トレーナーとポケモン、その絶対的な上下関係、  
それが崩壊した気がした。

どっちがご主人様なのか…。

少なくとも私の体は、この子を  
「旦那さん」だと認識してしまう。







〜ヤロロ…〜

へへ…いっけね♥  
タマゴ…<sup>卵</sup>出ちやった♥  
<sup>排卵</sup>

私とこの子の遺伝子…  
混ぜっこしちやった…















え...!? ちょ...!!  
ジャローダ!?

ウズウズ...!  
ウズウズ...!

ズズ...

=/ユルユル...!













ヒュッ...! ヒュッ...!

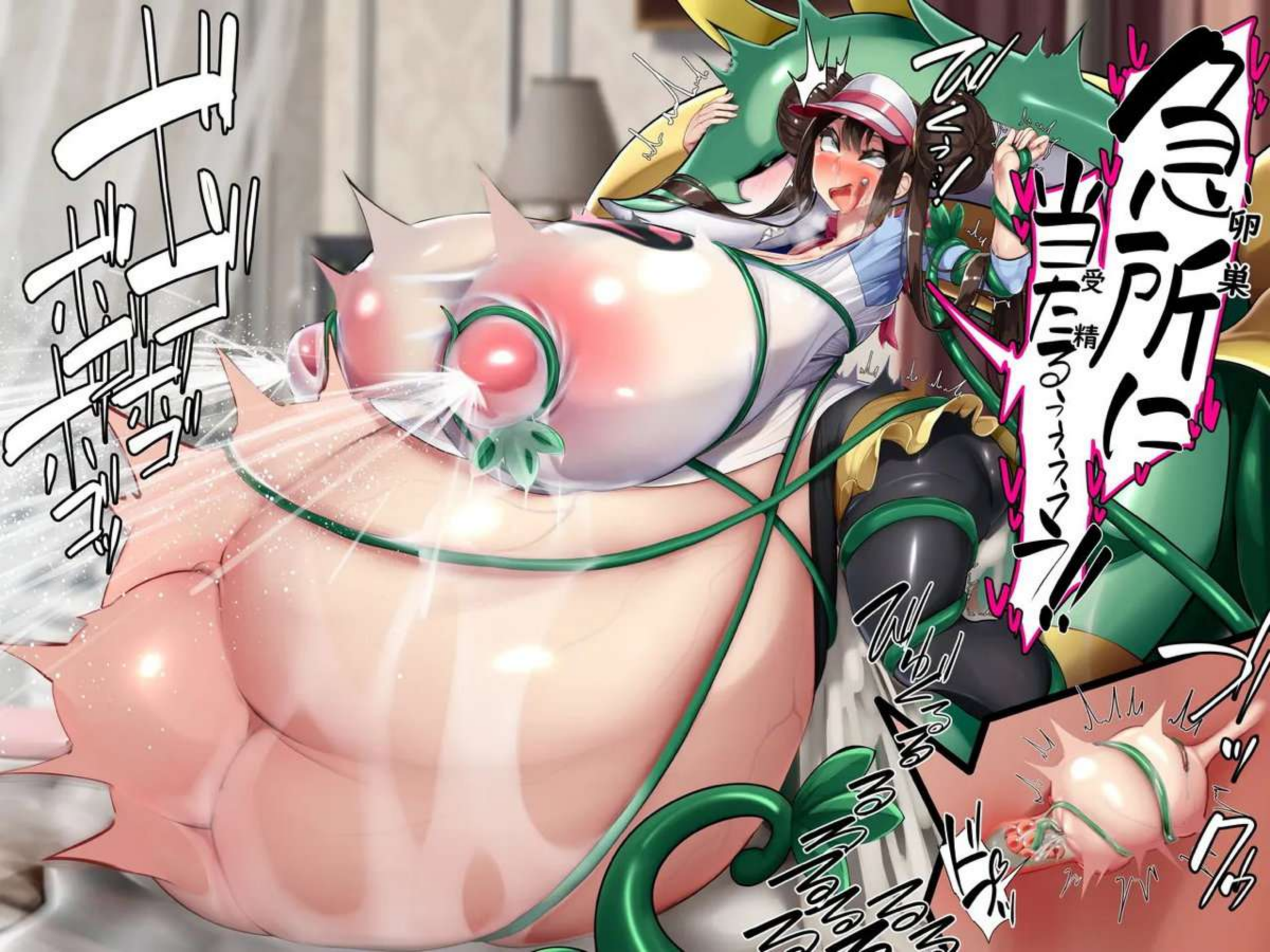
やっべ♥  
赤ちゃんの素  
いっばい出しちゃった...♥

Ww! Ww!  
Ww!  
Ww!









急所

受精  
Mmmmmmm!!

卵巢

Nana Nana Nana

!!

!!













やどりぎのタネえ...♡  
芽吹くううう...♡

タネマシンガン  
全部当たるう...♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡





卵巣の中の未熟な卵子まで  
受精させられてるうう……

私の卵子…使い切っちゃうよおおお…  
でも…それも悪くないかも…

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡





子宮の中は精液の海が広がっていた。

そのタンパク質の白い海の中には、  
受精卵という命が漂う。  
私とジャロード<sup>人間</sup>の愛の結晶だ。

だが、本来なら着床する事はない。  
染色体が違いすぎるからだ。

そう、あくまで本来なら――！









え...今の感覚...♡

え...今の感覚...

え...今の感覚...

え...今の感覚...

え...今の感覚...





や...ヤスヒ...♡

い...今の感覚...♡

とんて

あつ

あつ

あつ

あつ







アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



これ…  
妊婦  
デキちゃったかもお…♡







ズグンズグンと鼓動するお腹。

これ…胎動だ…♡

さっきの「ツプン」という  
感覚は着床痛だったのかも…♡

私のお腹にジャロダの子供が  
宿ったのだと私は悟った。





ジャロードああ…♥

ジャロオ…

この子…こんなにオスっ気強かったんだ…  
惚れ直しちゃった…♥

ケーン

ケーンケーン

チムムム

チムム

チムム

チムム







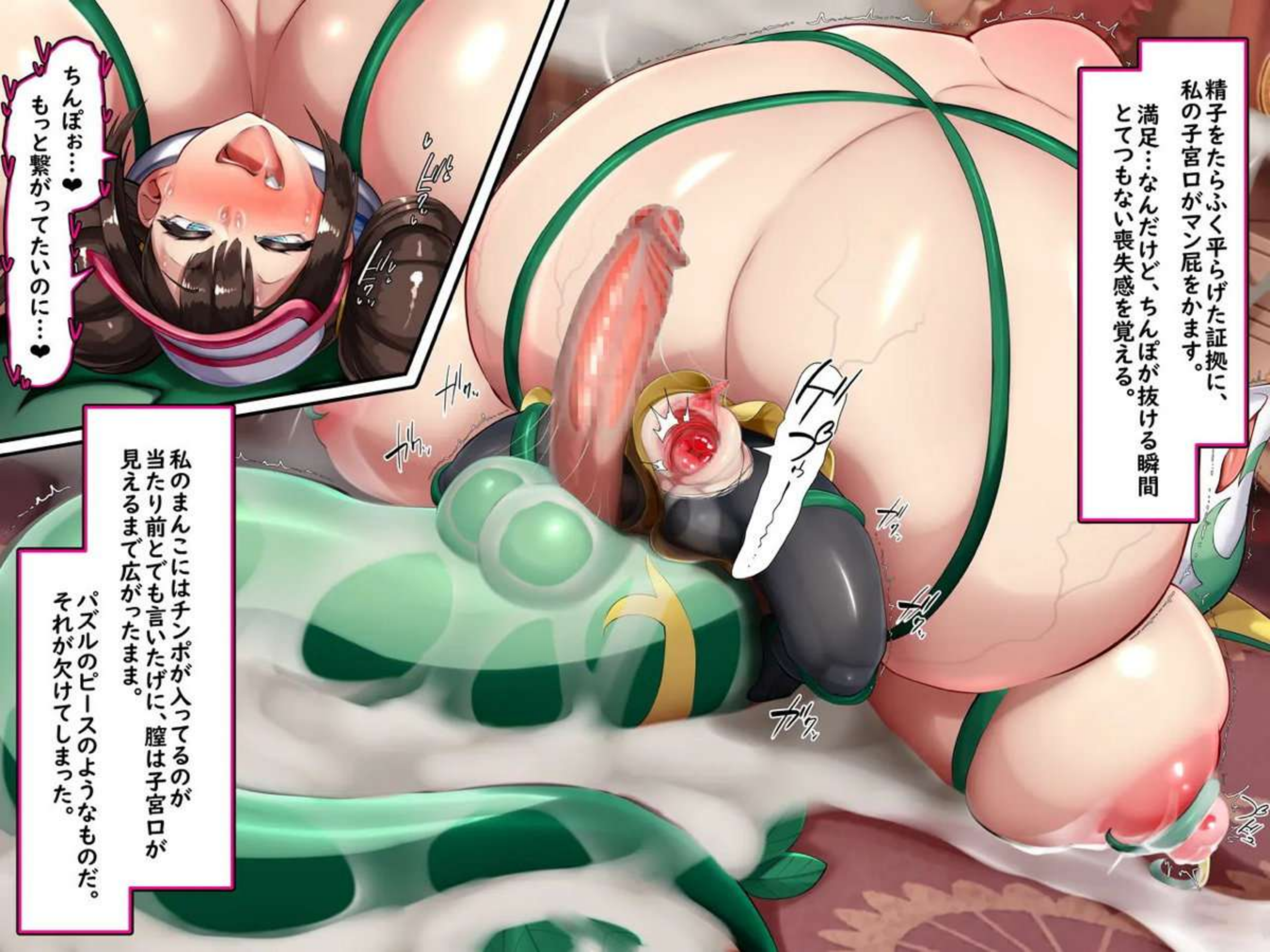
精子をたらふく平らげた証拠に、  
私の子宮口がマン尻をかます。

満足…なんだけど、ちんぽが抜ける瞬間  
とてつもない喪失感を覚える。

私のまんこにはチンポが入ってるのが  
当たり前でも言いたげに、膣は子宮口が  
見えるまで広がったまま。

パズルのピースのようなものだ。  
それが欠けてしまった。

ちんぽお…♡  
もっと繋がってたいのに…♡







ジャローダ…?  
疲れて眠っちゃった…?  
もう…可愛いなあ…♥

スウ…  
スウ…

タップリ中出しして満足したのか、  
ジャローダは寝息を立てて  
気持ちよさそうに眠ってしまった。



ところが私の子宮はまだ欲求不満。

ついには、子宮口をパクパク開けて求愛(?)してしまおう。  
こんなに子宮口をパツクリ開けているのに胎内の精液は溢れない。



精液とは名ばかりに、固体寄りの液体。  
ジャムのような粘度、そんな物を子宮に詰め込まれたんだ。  
そう簡単に溢れたりはいしない。









これって...

ところがどっこい、精液以外の何かが溢れそうになる感覚を胎内に覚える。

イッた時や種付けされた時は違う  
快樂と満足感が、全身に走る。













生かすか  
殺すか  
!!

のっ!

のっ!

のっ!

のっ!











スウ…  
スウ…

もも

よ…汚しちゃった…  
お部屋…片付けないと…  
ママに…叱られ…

私は今にも気絶アクメしそうな快樂に  
身悶えしているというのに、種付けした張本人は  
のん気に眠っている。







やば...♡  
頭真っ白...♡

私も寝ちゃお...♡

ふ...ふ...

ふ...

ふ...

ふ...ふ...

ふ...





すう...♡

すう...♡

20%...

終

制作・著作  
かわはぎ亭























